

朝の通勤で「R山陽線吉永駅から3分ほどの上り坂を歩いていゝ。30分はだが、考えを巡らせる。前日まで自明の量重な時間だ。前日まで自明のことでして、いた事柄を突破する。アチアが浮かぶこともある。

まずは吉永駅からの地図。センターの周囲を巡るオリエンタリーマップの略図を、等高線のある正確な地図に刷新することから始めた。国土地理院の2万5千分の1の地図を内蔵した、GPSナビゲーションシステム搭載の

なるかもー

を体験できるなら、至上の時間と閉谷学校の泊まって、さらに国玉の講堂で論語を活用した哲学対話

だ。しかも青少年教育センターにはいか、どの思いが浮かんで好きな人に楽しんでいただけるのリースとして提供すれば、歩くのがルコースを国土地理院の地図にとって旧閉谷学校までのトリー

ある日、この「不便な道を逆手

香山 真一

岡山県青少年教育センター
閉谷学校所長

一日一題

通勤路での着想

タブレットで、紙の地図と照合しながら歩く。時には、チェーンソーや草刈り機で新たな道を切り開く。

次は、赤穂線備前片上駅からの地図。駅の北にはだかゝる観音寺山

は標高385分の低山だが、登って振り向くと片上湾や穂波の井田跡が見える。予想外の絶景に感嘆

の聲が上がる。さらに驚嘆したのは、地元の篤志家が十年來變子

よつに山道を整備されていることだ。

完成した二つの地図はセンターのホームページに掲載し、ダウンロードできるようにした。7月に

は県トピカルニクス協会が1泊2日で上級者向けの講習会を開催した。国玉の講堂での哲学対話

も楽しんでいただきた。

道を開けば篤志家や理解者に出会うことができる。論語の感言の

よつな出来事だつた。